

# 平成 30 年度事業報告書

---

自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

## 平成 30 年度 事業報告概要

柳川市社会福祉協議会では「笑顔でつながる福祉のまち柳川」を基本理念として、福祉活動への住民の参画を得ながら、行政をはじめ地区社会福祉協議会及び福祉関係機関・団体等と連携・協働し事業推進に取り組んできました。

事業の推進にあたっては、平成 30 年に策定した「柳川市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

### 《重点目標について》

#### 1. 社会福祉法人改革への対応及び事業継続のための財政運営

今般の社会福祉法人制度改革（平成 29 年 4 月 1 日施行）に伴い、本会では、平成 29 年度に社会福祉充実計画（理事会、評議員会及び所轄庁承認済み）を策定し、地域福祉推進のための職員の増員並びに老朽化に伴う車両の買い替えを随時実施しています。

職員の増員については、平成 30 年 4 月から正規職員 1 名を新たに雇用し、地域福祉係専従の職員を 2 名体制とすることで、地域福祉事業の推進に効率的・効果的に取り組むための体制を整えました。また、車両の買い替えについては、今年度 3 台の入れ替えを行っています。

引き続き関係法令及び社会福祉充実計画を順守し、適切な法人運営に努めていきます。

#### 2. 第 2 期地域福祉活動計画に基づく地域福祉活動の推進

今年度から 5 カ年を計画期間とする第 2 期地域福祉活動計画の策定に伴い、計画の着実な推進に取り組みました。

地区社協活動においては、地域に根差したきめ細かな地域福祉の推進に役立ててもらうため、地区社協関係者を対象に、全体研修会及び武雄地区社協への視察研修を行いました。また、各地区社協で実施された内部研修、視察研修等の個別支援を行い、地区社協活動の推進を図りました。

4 期目に入った福祉委員推進事業においては、新たな取り組みとして地区別研修会を開催し、福祉委員同士の交流及び情報交換の場を設定し、個々の福祉委員活動の定着と充実を図りました。

広報活動については、既存ホームページの更なる操作性・利便性の向上に向けリニューアル作業を行い、社協事業の PR や福祉情報等の情報提供の充実を図りました。

社会福祉法人制度改革に伴い、すべての社会福祉法人に地域における公益的な取り組みを実施する責務が課せられたことから、市内社会福祉法人の連携による公益事業の推進体制の構築に向け、先進事例の調査研究及び連絡調整会議を開催し、社会福祉法人連絡協議会の立ち上げに向けた準備を進めました。

また、生活困窮者支援については、フードバンクくるめとの事業協定の締結並びに物品提供に関する協力事業者の確保に努めたことで、生活困窮者への支援物資の安定した供給が見込めるようになりました。

今後も地域福祉活動計画の基本理念である「笑顔でつながる福祉のまち柳川」の実現に向けて、住民や行政をはじめ、多様な関係者等と協働し、これまでの課題への対応と併せ、新たな福祉課題への取り組みを進めていきます。

### 3. 介護保険制度改革への対応

介護訪問・日常生活支援事業の訪問介護サービスについては、平成 29 年度中に従来の介護予防訪問介護事業から新制度への利用者の移行を終えました。今年度は、生活の質を低下させないように、継続して自立した在宅での生活の支援のためサービスの提供を行いました。

介護保険事業については、制度に基づく介護サービスの提供と併せ、既存の制度の中では対応できない介護サービスニーズに応えるために、社協独自による自費サービスの提供を通じて、要介護者の生活の支援に努めました。これまでの事業成果や今後の介護事業の方向性を考慮し訪問入浴介護事業を今年度末で廃止といたしました。

また、各種受託事業については、関係部署との連携を図り、安定した在宅介護サービスの提供に努めました。

以下、平成 30 年度の事業概要について報告します。

#### 1. 法人経営部門

##### (1) 理事会・評議員会等の開催

理事会の開催	3 回 (5/25. 12/20. 3/15)
監事会の開催	1 回 (5/15)
評議員会の開催	2 回 (6/12. 3/29)
正副会長会の開催	1 回 (3/5)
企画財政委員会の開催	1 回 (1/29)
評議員選任・解任委員会	1 回 (1/18)
表彰審査委員会	1 回 (9/11)

##### (2) 職員の教育・研修 4 回 (職員基礎、交通安全、パソコン、人権同和)

##### (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣日数 4 日間、派遣者 2 人 (正規職員)

##### (4) 福祉人材育成のための実習受入れ

介護員養成実習 2 人、社会福祉援助実習 1 人

#### 2. 地域福祉活動部門

##### (1) ボランティアセンター管理運営

窓口対応件数 593 件 ボランティア体験会 (2 日間、38 人参加)

##### (2) ボランティア入門講座 2 日間、参加者 21 人

##### (3) 傾聴ボランティア養成講座 6 日間、参加者 8 人

##### (4) 災害に強い地域づくり講座 2 地区、参加者 61 人

##### (5) よりあい活動支援講座 3 日間、参加者 26 人

##### (6) 市民福祉講座 3 日間、参加者 40 人

##### (7) 障がい者問題啓発セミナー 2 日間、参加者 18 人

##### (8) 福祉教育教材配布 (小学校 19 校、特別支援学校 1 校) 684 冊

##### (9) 社協だよりの発行 年 6 回 (No.79~No.84)

- (10) 市民福祉座談会 2箇所開催 参加者 70人
- (11) 第14回柳川市社会福祉大会 10/20 柳川総合保健福祉センター 444人
- (12) 地区社協事業  
全体連絡会 3回 視察研修 1回 個別支援 65回
- (13) 福祉委員設置推進  
299行政区/443人 新任者研修 1回、全体研修会 1回、地区別研修会 4回
- (14) よりあい活動室内遊具貸与事業 貸与件数 21件
- (15) 子育て支援講座 2日間、参加者 41人
- (16) 火災見舞品支給 3件/7セット
- (17) 物故者敬供事業 896件
- (18) 助成事業  
歳末たすけあい (19地区社協、968,900円)  
福祉団体活動支援 (4団体、858,000円)  
ボランティア団体活動支援 (3団体、120,000円)  
ボランティア連絡協議会活動支援 (88,000円)
- (19) 地域における公益的な取り組みの推進  
社会福祉法人連絡調整会議 3回、社会福祉法人代表法人会議 2回

### 3. 市民福祉サービス部門

- (1) 生活福祉資金貸付事業 相談件数 113件 申請件数 38件 決定件数 36件
- (2) 緊急支援品支給事業 申請件数 40件 実申請者数 20人
- (3) 心配ごと相談事業 開設日数 49日 相談件数 39件
- (4) 日常生活自立支援事業 利用者数 16人 延べ支援回数 277回
- (5) 福祉用具貸与事業 年間貸与延べ件数 1,229件
- (6) ハンディキャブ貸与事業 年間貸与件数 111件 実利用者数 15人
- (7) 福祉バス事業 (市受託) 利用日数 100日 利用者数 1,537人
- (8) 老人福祉センター管理運営  
大和老人福祉センター 開館日数 293日 延べ利用者数 9,812人  
三橋老人福祉センター 開館日数 261日 延べ利用者数 11,218人
- (9) 柳城児童館管理運営 開館日数 243日 延べ利用者数 (保護者 4,729人/乳幼児 5,754人)
- (10) ファミリーサポートセンター管理運営 活動件数 567件 会員登録数 402人

### 4. 在宅福祉サービス部門

- (1) 介護保険・障害者総合支援事業  
居宅介護支援 ケアプラン作成 1,509人  
訪問介護 利用者数 375人 利用回数 4,461回  
訪問入浴介護 利用者数 41人 利用回数 173回  
障害者居宅介護 利用者数 231人 利用回数 2,620回



## 事業報告付属明細書

《法人経営部門》

### 1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	<b>第 1 回理事会</b> ○平成 30 年 5 月 25 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 10 人（総数 13 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 6 人 ○全議案全会一致で可決	<b>議案第 1 号 平成 29 年度事業報告並びに決算報告</b> [監査報告及び監事の意見] ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 [主な意見及び質疑] ・ボランティア体験会の参加者数について ・心配ごと相談における相談内容等について ・福祉委員活動における個人情報の取扱いについて ・高齢者生きがい活動支援通所事業の市内全域での実施について ・傾聴ボランティア養成講座受講者のその後の活動について ・緊急支援品支給事業の利用状況について <b>議案第 2 号 居宅介護支援・居宅介護予防支援事業所運営規程の一部改正の専決処分</b> <b>議案第 3 号 定時評議員会の招集</b> <b>報告第 1 号 平成 29 年度会長・常務理事の職務執行状況（下半期）の報告</b>
	<b>第 2 回理事会</b> ○平成 30 年 12 月 20 日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事 11 人（総数 12 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 4 人 ○議案第 1 号、第 2 号、第 3 号、第 5 号及び第 6 号全会一致で可決、議案第 4 号賛成多数（9 名賛成）で可決	<b>議案第 1 号 平成 30 年度資金収支補正予算 [第 1 号] の専決処分</b> <b>議案第 2 号 平成 30 年度資金収支補正予算 [第 2 号] の専決処分</b> <b>議案第 3 号 給与規程の一部改正</b> <b>議案第 4 号 訪問入浴介護事業の廃止</b> [主な意見及び質疑] ・事業廃止後の訪問入浴車両の活用について ・地域包括ケアシステムにおける在宅介護推進への対応について ・事業経費精査後の再検討について <b>議案第 5 号 後任評議員選任候補者の推薦</b> [主な意見及び質疑] ・後任評議員の任期について ・前任者退任後の欠員期間が長期の理由について <b>議案第 6 号 平成 30 年度第 1 回評議員選任・解任委員会の招集</b> <b>報告第 1 号 平成 30 年度会長・常務理事の職務執</b>

		<p>行状況（上半期）の報告</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・購入した車両の用途について</li> <li>・車両購入時の助成制度の利用について</li> </ul>
	<p><b>第3回理事会</b></p> <p>○平成31年3月15日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理事11人（総数12人） ※定数10人以上15人以内</li> <li>・監事2人 ※定数2人</li> <li>・事務局6人</li> </ul> <p>○全専決議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第1号 平成30年度資金収支補正予算〔第3号〕の専決処分</b></p> <p><b>議案第2号 平成31年度事業計画</b></p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協での地域食堂の実施について</li> <li>・よりあい活動立ち上げ支援助成制度について</li> </ul> <p><b>議案第3号 平成31年度一般会計資金収支予算</b></p> <p><b>議案第4号 定款の変更</b></p> <p><b>議案第5号 訪問入浴介護事業所・介護予防訪問入浴介護事業所運営規程の廃止</b></p> <p><b>議案第6号 経理規程の一部改正</b></p> <p><b>議案第7号 就業規則の変更</b></p> <p><b>議案第8号 非常勤職員就業規則の変更</b></p> <p><b>議案第9号 後任理事選任候補者の推薦</b></p> <p><b>議案第10号 平成30年度第2回評議員会の招集</b></p>
(2) 監事会	<p><b>第1回監事会</b></p> <p>○平成30年5月15日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・監事2人 ※定数2人</li> </ul> <p>○指摘事項なし</p>	<p>平成29年度事業報告及び決算報告に係る監査</p>
(3) 評議員会	<p><b>定時（第1回）評議員会</b></p> <p>○平成30年6月12日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員15人（総数17人） ※定数17人以上22人以内</li> <li>・監事2人 ※定数2人</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局6人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p><b>議案第1号 平成29年度事業報告並びに決算報告</b></p> <p>[監査報告及び監事の意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。</li> </ul> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決算報告書記載の円単位の統一について</li> </ul>

	<p><b>第2回評議員会</b></p> <p>○平成31年3月29日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員15人（総数20人） ※定数17人以上22人以内</li> <li>・会長、常務理事</li> <li>・事務局3人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第1号 平成30年度資金収支補正予算〔第1号〕の専決処分</p> <p>議案第2号 平成30年度資金収支補正予算〔第2号〕の専決処分</p> <p>議案第3号 平成30年度資金収支補正予算〔第3号〕の専決処分</p> <p>議案第4号 平成31年度事業計画</p> <p>議案第5号 平成31年度一般会計資金収支予算 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問入浴介護事業廃止の経緯について</li> </ul> <p>議案第6号 定款の変更</p> <p>議案第7号 後任理事の選任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市議会の代表者 1人</li> </ul>
(4) 正副会長会	<p><b>第1回正副会長会</b></p> <p>○平成31年3月5日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会長</li> <li>・副会長2人</li> <li>・常務理事</li> <li>・事務局5人</li> </ul>	<p>協議第1号 平成31年度事業計画 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりあい活動立ち上げ支援助成制度について</li> <li>・子育て支援ゆずりあい事業の譲渡品の受入基準について</li> </ul> <p>協議第2号 平成31年度一般会計資金収支予算 〔主な意見及び質疑〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄附金減少への対応について</li> </ul> <p>協議第3号 平成31年3月理事会への提出議案</p>
(5) 企画・財政委員会	<p><b>第1回企画・財政委員会</b></p> <p>○平成31年1月29日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・財政委員7人 ※定数8人</li> <li>・常務理事</li> <li>・事務局2人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で承認</p>	<p>選任第1号 副委員長の選任</p> <p>議案第1号 福祉団体等助成金の新規交付 〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降の助成額について</li> </ul> <p>議案第2号 平成31年度福祉団体等助成金の審議 〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金が減額となる団体への予算補填について</li> <li>・身体障害者福祉協会の加入率について</li> <li>・老人クラブの年会費について</li> <li>・母子寡婦福祉会への柳川市からの助成金について</li> <li>・助成金受給団体の義援金等の拠出について</li> </ul>
(6) 評議員選任・解任委員会	<p><b>第1回評議員選任・解任委員会</b></p> <p>○平成31年1月18日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評議員選任・解任委員5人 ※定数5人</li> <li>・常務理事</li> <li>・事務局1人</li> </ul> <p>○全議案全会一致で承認</p>	<p>議案第1号 後任評議員の選任</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区社協、保護司会、商工会議所・商工会及び市議会の代表者 4人</li> </ul>

<p>(7) 表彰審査委員会</p>	<p>第 1 回表彰審査委員会  ○平成 30 年 9 月 11 日  ○柳川総合保健福祉センター  ○出席者  ・表彰審査委員 4 人  ※定数 6 人  ・事務局 3 人</p>	<p>第 14 回柳川市社会福祉大会被表彰者の審査  平成 30 年度被表彰者  ボランティア等功労者 山田勝治 氏  " 武藤ゆり子 氏  " 水かげろう 様  平成 30 年度感謝  10 万円以上の一般寄附者 (株)マミーズ柳川店 様  " 柳泳会 様  (伝習館高校水泳部 OB 会)  " 大和町商工会青年部 OB 親和会 様</p>
--------------------	---	--

## 2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
<p>(1) 職員研修</p>	<p>平成 30 年 6 月 22 日  柳川総合保健福祉センター  参加者 常勤職員 29 人</p>	<p>「介護保険制度の基礎知識を深めよう」をテーマに、介護保険制度の仕組みや基礎知識を学ぶことで、担当部署以外の職員でも相談者に適切な対応をスムーズに行い、市民サービス及び満足度を高めることを目的に開催した。グループワークの発表方法に寸劇を取り入れたことで、様々な対応方法を目で見て学ぶことができた。</p>
	<p>平成 30 年 8 月 24 日  柳川総合保健福祉センター  参加者 常勤職員 28 人</p>	<p>「はじめての手話！」をテーマに、聴覚障がい者に対する理解を深めるとともに、手話で初歩的な日常会話ができるようになることで、相談しやすい窓口を目指すことを目的に開催した。手話を学ぶ前に当事者からの話を聞くことで、聴覚障がい者の方が日常生活で抱える問題や健常者との感覚の違いを学ぶことができた。</p>
	<p>平成 30 年 10 月 26 日  柳川総合保健福祉センター  参加者 常勤職員 29 人</p>	<p>「高めようコミュニケーション力」をテーマに、普段関わることの少ない職員同士が 1 つの共通テーマについて話し合い意見を出し合うことで、協調性や発想力、提案力を培うとともに、グループワーク（社協の PR 方法についての協議）を通じて他部署の職員とコミュニケーションを深めることを目的に開催した。</p>
<p>(2) パソコン研修</p>	<p>平成 30 年 8 月 8 日  柳川総合保健福祉センター  参加者 常勤職員 9 人  平成 30 年 8 月 29 日  柳川総合保健福祉センター  参加者 常勤職員 9 人</p>	<p>職員のパソコン技能を向上させることで、事務の効率化及び作業能率を向上させるために、パソコンスクール PC ワークスの福島氏に指導いただき、Word 2013 の「応用」をテーマとした 5 時間の講義を計 2 日間（同一内容）実施した。</p>

<b>(3) 交通安全研修</b>	平成 30 年 12 月 19 日 柳川総合保健福祉センター 参加者 常勤職員 29 人 非常勤職員 8 人	①管内の交通事故の状況 ②薄暮時・夜間の交通事故防止 講師 福岡県柳川警察署
<b>(4) 人権・同和研修</b>		
i 人権を考えるつどい (柳川市主催)	平成 30 年 12 月 9 日 柳川総合保健福祉センター 参加者 役職員 3 人	「夢と絆～拉致が奪い去ったもの～」(講演) 講師 蓮池薫 氏
ii 企業等の事業主に対する人権・同和問題研修会(大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催)	①平成 30 年 5 月 29 日 まいピア高田 参加者 職員 1 人 ②平成 30 年 11 月 15 日 大刀洗ドリームセンター 参加者 職員 1 人 ③平成 31 年 2 月 14 日 大牟田文化会館 参加者 職員 1 人	①「企業における性的少数者の人権入門」(講演) 講師 加藤陽一 氏 ②「村度はなぜ起きるのか」 講師 中島岳志 氏 ③「身の回りにおける様々な人権問題」(講演) 講師 迫本幸二 氏

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

### 3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先等	時期・派遣者等	内容
<b>(1) 久留米市災害ボランティアセンター</b>	派遣期間：平成 30 年 7 月 11 日～14 日 派遣日数：4 日間 派遣者数：正規職員 2 人	平成 30 年 7 月豪雨災害により、特に被害が大きかった久留米市を支援するため、久留米市災害ボランティアセンター運営に携わる職員を派遣した。

### 4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・場所等	内容
<b>(1) 介護員養成実習</b>	平成 31 年 2 月 担当：三橋支所 在宅福祉係	九州大谷短期大学 2 人 延べ 6 日間
<b>(2) 社会福祉援助実習</b>	平成 30 年 8 月～9 月 担当：大和支所 地域福祉係	久留米大学 1 人 研修期間：25 日間

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 593 件（前年比 79 件減）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの登録 21 件</li> <li>・ボランティア活動の相談 56 件 （内訳）活動希望 25 件、活動要請 8 件 ※この内マッチング件数は 18 件</li> <li>・その他の相談 78 件</li> <li>・ボランティアセンターへの協力要請 28 件</li> <li>・ボランティア連絡協議会からの相談 25 件</li> <li>・諸室・印刷機の利用 385 件</li> </ul> <p>※ボランティアセンターへの訪問者数 684 人</p>	<p>【登録団体件数】 計 61 団体（前年比 5 団体増）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会ボランティア 5 団体</li> <li>・福祉ボランティア 19 団体</li> <li>・教育ボランティア 2 団体</li> <li>・文化ボランティア 17 団体</li> <li>・子育てボランティア 3 団体</li> <li>・環境ボランティア 4 団体</li> <li>・災害ボランティア 11 団体</li> </ul>
<p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動保険 54 件 814 人(204 人減)</li> <li>・行事用保険 10 件</li> <li>・福祉サービス補償 12 件</li> </ul>	<p>【ボランティア体験会】</p> <p>ボランティアを始めるきっかけづくりとして開催。</p> <p>① 8/26 ECO 活動に参加しよう！ 講師：保健医療経営大学 i サイクル部 参加者 30 人</p> <p>② 8/26：わいわい食堂 講師：わいわい食堂実行委員会 参加者 8 人</p> <p>【ボランティアサロン】</p> <p>ボランティア同士の交流を深めるため毎月第 3 土曜日に水の郷で開催。 参加者 延べ 188 人</p>
<p>評価及び課題</p>	<p>ボランティアサロンには多くの活動者が来場し、交流、情報交換、相談などを通して活動者の意見を聞くことができた。今後、来場されたボランティアが、単なる交流だけに留まらず、自由な発想やアイデアを持ち、自ら進んで考え行動に移せるように導くための工夫が必要である。</p>

[各種講座関係]

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
<p>ボランティア 入門講座</p>	<p>6 月 26 日 3 月 13 日 全 2 回 柳川総合保健福祉センター</p>	<p>ボランティアを始めるきっかけづくりや知識を深めるために実施。</p> <p>①「やりたい」をカタチに いきいき暮らすためのボランティアの話 講師 西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科長 滝口 真 氏 参加者 16 人</p> <p>②私のボランティア人生～ボランティア活動を無理なく楽しく続けるためのヒント～ 講師 認定NPO 法人 日本車椅子レクダンス協会 理事長 黒木 実馬 氏 参加者 16 人（内 7 人は車椅子レクダンス協会会員）</p>	<p>ボランティア活動に関する基礎知識の学習の他、車椅子レクダンスの紹介と体験活動を行った。今後も、ボランティア団体の活動を紹介し、参加者のきっかけづくりを行っていく。また、広報活動を強化し、受講者の増加に努めていく。</p>

傾聴ボランティア養成講座	11月1日、8日、15日、22日、12月6日、他実習1日 全6回 三橋総合保健福祉センター	傾聴の心構えや基礎知識、技術等を学び地域において活動する傾聴ボランティアを養成することを目的に実施。 内容：傾聴の基本、キモチに寄り添う聴き方、ありのままを受け入れる聴き方、可能性を信じる聴き方、肯定的に捉える聴き方、幸せを感じる聴き方 など 講師 NPO 法人日本ソーシャルコーチ協会 理事長 富岡郁雄 氏 実習：生きがいデイサービス（大和支所） 参加者 8人	受講者数名が一昨年の受講者で結成された傾聴ボランティアグループと共に活動していく意思表示をされ、活動者の増加に繋がった。しかし、年々受講者が減少傾向にあるため、気軽に学習できる内容にするなど、講座のあり方を検討する必要がある。
災害に強い地域づくり講座	2月19日 矢ヶ部地区 2月22日 蒲池地区 全2回 各公民館（コミュニティセンター）	突然の災害に備え、住民同士の支援活動が円滑に進められるよう、必要な知識の普及を図るために実施。 ①矢ヶ部地区 ・避難行動要支援者について ・防災マップづくり 講師 柳川市役所福祉課高齢者福祉係 " 総務課安全安心係 参加者 29人 ②蒲池地区 ・防災気象情報とその利用 ・洪水への備えについて 講師 福岡管区気象台 筑後川河川事務所 参加者 32人	平成22年度に開始した本講座は、地区社協を通じての災害時に備えた支援活動の促進を目的に実施しており、現在2周目を迎えている。 本講座が自主防災組織活動における研修会の一助となるよう、引き続き地域と連携し実施していきたい。
よりあい活動支援講座	8月22日 8月28日 9月5日 全3回 三橋総合保健福祉センター	よりあい活動の必要性やその効果を理解し、更には実践力を習得した地域の福祉関係者を養成するために実施。 【講義・演習】 ①高齢者向けの健康体操！ 身近なものを使った脳トレ！ 講師 大川市レクリエーション協会 甲鶴子 氏 ②笑って健康！いきいき人生！ 講師 福岡笑いヨガクラブ 山本順子 氏 【視察】 西上町行政区「海苔のり会」 参加者 26人 ・地区社協関係者 10人 ・地域デイサービス関係者 10人 ・一般 5人 ・行政 1人	今年度は、地域内ですぐ活用できるレクリエーションや体操を学ぶ機会となった。今後も引き続き、講座を通してよりあい活動の実践者の養成に努めていくとともによりあい活動の新規立ち上げに繋がる講座を企画していきたい。また、一般の受講者数が伸び悩んでいることが今後の課題であり、広報手段を見直していきたい。

市民福祉講座	2月14日 2月19日 2月28日 全3回 三橋総合保健福祉センター	市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。 【講義】 ①伸ばそう健康寿命！～ロコモ予防について学ぶ～ 講師 森整形外科医院 理学療法士 平山英子 氏 ②プロに学ぶ！認知症とは？ 講師 柳川リハビリテーション病院 副院長 小池文彦 氏 ③『住まい』の就活セミナー 講師 NPO 法人 わが家の119番 理事 永田和富 氏 参加者 40人	前回のアンケートから特に要望が多かった内容をテーマとして企画した。昨年度並の受講人数であったが、その半数以上が案内ハガキを送った昨年度の受講者であったため、新規参加者の増加に繋がる広報手段を考える必要がある。
障がい者問題啓発セミナー	2月15日 柳川総合保健福祉センター 2月21日 KATARObase32 全2回	障がいに対する偏見や差別をなくし、全ての人が完全参加と平等について理解と認識を深めてもらうために実施。 ①ちょっと「気になる子」の気持ちを疑似体験！ 講師 福岡県教育庁福岡教育事務所 スクールカウンセラー 平尚江 氏 ②Hot カフェ ～ホッと一息つきながら、いろんなお話しませんか？～ 講師 発達障がい児（者）親の会 ひまわり 会長 大曲ゆかり 氏 参加者 18人	実体験プログラムを通して発達障がいの特性について学んだり、家族が集まる機会を設定して、当事者家族が悩みを共有することができた。今回は、テーマや内容から当事者やその家族の参加が多かった。参加しやすい企画内容や場所を考えていく必要性を感じた。

[福祉教育関係]

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
福祉教育教材活用事業	7月10日 市内全小学校 柳河特別支援学校	市内の19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に684冊配布	イラストや写真があり、児童に分かりやすい内容であるといった学校からの報告もあった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。

## 2. 調査・広報・普及

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
社協だより発行 (年6回発行) 第79～84号	5月15日 7月15日 9月15日 11月15日 1月15日 3月15日	<p>【第79号】平成30年度事業計画、第2期地域福祉活動計画、社協会費依頼、ボランティア入門講座募集、メセナシート募集等</p> <p>【第80号】平成29年度事業報告・決算報告、心配ごと相談員紹介・研修報告、第2期地域福祉活動計画、社協会費納入依頼、よりあい活動支援講座募集、福祉委員の紹介等</p> <p>【第81号】赤い羽根共同募金協力依頼、社会福祉大会お知らせ、傾聴ボランティア養成講座募集、福祉教育教材寄贈、ボランティア入門講座報告、地区社協活動紹介等</p> <p>【第82号】社会福祉大会報告、地区社協活動紹介、三橋中学校高齢者疑似体験報告、よりあい活動支援講座報告、社会福祉援助実習の感想、福祉団体等助成金案内等</p> <p>【第83号】年頭挨拶、災害ボランティアセンター設置運営訓練報告、地区社協活動紹介、歳末たすけあい事業報告、福祉委員全体研修会報告、子育て支援講座報告、障がい者セミナー募集、市民福祉講座募集等</p> <p>【第84号】地域福祉活動計画、子育て支援ゆずりあい事業募集、地区社協活動紹介、市民福祉講座報告、社会福祉大会実行委員募集、子育て支援講座報告、心配ごと相談員研修報告等</p>	<p>昨年度、社協クイズへの応募方法をハガキ以外でも行えるようにしてほしいとの要望があったため、今年度からホームページに回答ページを設けた。より簡易な方法で応募が行えるようになったため、応募数が増加傾向にある。</p> <p>引き続きレイアウト及び誌面の充実を図っていき市民に読んでもらえる広報誌づくりを目指していく。</p>
市民福祉座談会	11月13日 1月13日 2箇所開催 蒲池荻島、昭代宮上南行政区	<p>《主な意見》</p> <p>①介護認定の認定期間中に区分変更申請は行えるのか</p> <p>②介護認定を受けるための申請から決定までの手順を詳しく教えてほしい など</p> <p>参加者 70人</p>	開催地区と日程調整を行い、計画的に進めていきたい。
各種基礎調査	平成30年4月	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施。</p> <p>《平成30年3月31日現在データ》</p> <p>①人口 66,829人(前年比661人減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・65歳以上の割合 32.2%(前年比0.4%増)</li> <li>・75歳以上の割合 16.8%(前年比0.3%増)</li> <li>・14歳未満の割合 12.1%(前年比0.2%増)</li> </ul> <p>②世帯数 25,480戸(前年比236戸増)</p> <p>③一人親世帯数 764戸(前年比3戸減)</p> <p>④65歳以上独居高齢者数 4,074人(前年比192人増)</p> <p>⑤65歳以上高齢者世帯数 7,278戸(前年比259戸増)</p>	調査した福祉データを市民福祉座談会や学習会等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。

<p>第14回柳川市 社会福祉大会</p>	<p>10月20日 柳川総合保健福 祉センター</p>	<p>広く市民に参加を呼びかけ、社会福祉への関心を高める機会として実施。</p> <p>①オープニング 柳南中学校吹奏楽部演奏</p> <p>②式典（表彰3人、大会宣言など）</p> <p>③当事者からのメッセージ 発表者 柳川タオル帽子の会 古賀ミチ子 氏</p> <p>④記念講演 テーマ トーク&amp;コンサート「命と絆」 講師 シンガーソングライター 大島花子 氏</p> <p>参加者 444人</p>	<p>事務局の予想を上回る反響をいただき、大盛況であった。</p> <p>引き続き、多くの方々に参加してもらえよう企画づくりを進めるとともに、大会の広報活動を充実させ、広く市民に周知を図っていきたい。</p>
---------------------------	-------------------------------------	---	--

### 3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
<p>地区社協事業</p>	<p>通年</p>	<p>○地区社協個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内部研修等の支援 54件</li> <li>・視察研修等の支援 11件</li> </ul> <p>○地区社協連絡会（全体会3回）</p> <p>6月19日、11月14日、2月20日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度市社協事業等について</li> <li>・地区社協役員研修について</li> <li>・歳末たすけあい事業について</li> <li>・連絡会視察研修の報告について</li> <li>・連絡会会長及び副会長の選任について</li> <li>・次年度の助成金・連絡会事業について</li> <li>・要支援者名簿の情報提供について</li> <li>・各地区の課題共有及び情報交換</li> </ul> <p>○地区社協役員研修会</p> <p>7月21日、大和生涯学習センター</p> <p>講演 地区社協活動へのアドバイス 講師 福岡県社協 地域課 活動報告 沖端・六合・垂見地区社協 参加者 131人（19地区）</p> <p>○視察研修</p> <p>10月11日、参加者 15人（15地区） 武雄地区社協視察（佐賀県武雄市）</p> <p>○みんなが主役の元気な地域づくりセミナー</p> <p>2月28日、福岡市、参加者 8人（8地区）</p>	<p>地区社協の個別支援では、各地区の研修会の調整や取り組みへの助言等を行った。</p> <p>また、連絡会では、各地区の活動報告を行い、情報交換を図った。</p> <p>次年度に向け、地区社協内で関係者同士が情報共有を図る場づくりを支援するとともに、各地区の活動における課題等を把握するため、座談会を開催し、今後の活動支援に繋げていきたい。</p>

福祉委員設置 推進	通年	<p>○福祉委員設置状況（H31.3月末現在） 福祉委員数 443人（299行政区）</p> <p>○研修等開催状況</p> <p>1) 新任者委嘱状交付及び研修会 4月24日、水の郷、参加者98人 ・福祉委員活動の留意点 他</p> <p>2) 福祉委員全体研修会 11月17日、大和生涯学習センター 参加者165人（内地区社協関係8人） ・「今」の子育て事情～地域で見守ろう 地域の子ども～ 講師 子育てアドバイザー高田悦也 氏 ・活動報告 宮上南行政区 福祉委員 島添昭光 氏 皿垣北行政区 福祉委員 北島知佐子 氏</p> <p>3) 福祉委員地区別研修会</p> <p>①2月27日、大和生涯学習センター、 参加者42人</p> <p>②3月6日、水の郷、参加者60人</p> <p>③3月7日、サンブリッジ、参加者44人</p> <p>④3月13日、水の郷、参加者47人</p> <p>・福祉委員の役割について ・福祉委員活動等についての意見交換</p>	<p>4期目に入り、福祉委員の設置に関して、行政区の理解が年々進んでいると思われ、福祉委員数は昨年度と比較して増加している。</p> <p>新たな取り組みとして、福祉委員同士の交流及び情報交換の場を設定し、今後の活動に繋げてもらうため、市内を4地区に分けて地区別研修会を開催した。</p> <p>次年度以降については、全体研修会・地区別研修会ともに研修内容のさらなる充実を図り、福祉委員個々の活動の定着と地域の支援者相互の連携強化を図っていききたい。</p>
よりあい活動 支援室内遊具 貸与事業	通年	<p>貸与件数 21件 （内訳：地域デイ 12、老人会 2、その他 7）</p> <p>遊具利用回数</p> <p>輪投げ 13回 ガンバルーン 8回 ルーレットゴルフ 3回 的当てゲーム 3回 ストライクナイン 2回 カラーお手玉投げゲーム 2回 コーンボールセット 2回 点鳥ルーレット 2回 ナンバーストライクゲーム 1回 ビーチボール 1回 将棋セット 1回 紅白床置き玉入れセット 1回 チャレンジゴルフ 1回 囲碁ボール 1回 室内ペタンク 1回 的当てゲーム 1</p>	<p>遊具一覧表を関係団体等に配布し、遊具の利用促進に努めるとともに、今後、地区社協福祉関係者座談会や市民福祉座談会にて事業の紹介を行い、貸与件数の増加に努めていく。</p>

#### 4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	時期・場所等	事業内容	評価及び課題
子育て支援講座	11月15日 1月19日 全2回 柳川総合保健福祉センター	親と子どもの関係の重要性を自覚し、子どもとともに成長する喜びを感じ、心にゆとりを持って子育てができるよう支援するために実施する。 ①子どもの長所を“グングン”伸ばす楽しい子育て 講師 Presious 代表 島田和子 氏 ②うちの子最高！私も最高！ ～あなたの子育てに自信を持って～ 講師 幼児教育・家庭教育専門家 熊丸みつ子 氏 参加者 41人	受講者のアンケートから、「子どもの長所を伸ばす方法がわかった」、「悩みが解決した」などの声をいただくことができた。今後も子育て支援に役立つ講座を企画していきたい。
火災見舞品支給事業	通年	火災に遭われた被災世帯に対して、急場の生活維持のために、救援物資の支給を行う。 支給件数 3件（7セット）	被災状況の情報を速やかに把握し、見舞品を届ける時間の短縮に努める。
物故者への敬供事業	通年	敬供件数 896件（前年比15件増） ・市内 888件（+10） ・市外 8件（+5） ※敬供品 線香及び弔意	休日等に市外葬儀場に敬供する必要がある場合に備えて、本会に数個保有しておく必要がある。
歳末助け合い事業 ※助成事業	12月1日～31日 市内19地区	新年を迎える時期に、要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末事業を支援した。 ・実施地域：柳川8地区、大和6地区、三橋5地区 ・助成額 968,900円（前年比23,400円減） ・主な事業：一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者及び施設入居者等への見舞品配布（カツオパック、お茶、タオル、手紙など）	地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。 歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実に繋がる支援を行っていきたい。
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成30年6月～9月	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。 ・助成団体数 4団体（前年比-2） ・助成額 858,000円（前年比221,000円減）	平成28年度から、福祉団体とボランティア団体の助成金交付規程を一本化し、福祉団体等助成金交付規程として運用している。
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成30年6月	誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。 ・助成団体数 3団体（前年比±0） ・助成額 120,000円（前年比2,000円増）	

ボランティア 連絡協議会活 動支援事業 ※助成事業	交付時期 平成 30 年 6 月	市内でボランティアを行う団体又は個人の 繋がりを作り、活動を推進するために、ボラ ンティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額 88,000 円（前年比 8,000 円減）	
------------------------------------	---------------------	--	--

#### 5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容	評価及び課題
社会福祉法人連絡調整会議	<p>①7月31日 参加数 13 法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法人の責務等について</li> <li>・アンケート調査結果報告について</li> <li>・県内の取り組み状況説明について</li> <li>・各法人の考え方の意見交換</li> </ul> <p>②9月11日 参加数 11 法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の 取り組みについて（学習会）</li> </ul> <p>③1月24日 参加数 9 法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経過報告、規約（案）、具体的活動（案）、役員・ 運営委員構成（案）、会費納入対象者の基準に ついて</li> </ul>	市内社会福祉法人 の連携による公益 事業の推進体制の 構築に向け、大牟田 市の取り組みを学 習するとともに、連 絡調整会議及び代 表法人会議を開催 し、連絡協議会の設 立準備を進めてき た。引き続き、詳細 を詰めながら次年 度の設立を目指し ていく。
社会福祉法人代表法人会議	<p>①10月25日 参加数 5 法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡協議会規約（案）について</li> <li>・今後のスケジュール（案）について</li> </ul> <p>②11月21日 参加数 5 法人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規約（案）、具体的活動（案）、役員・運営委員 構成（案）、会費納入対象者の基準について</li> </ul>	

《市民福祉サービス部門》

1. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件	16件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	28件	3件	0件	31件	5件	5件	3件	26件
	緊急小口資金	50件	3件	0件	53件	18件	18件	9件	43件
教育支援 資金	教育支援費	11件	2件	0件	13件	7件	6件	3件	131件
	就学支度費	11件	1件	0件	12件	8件	7件	4件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	4件	0件	0件	4件	0件	0件	0件	2件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件	13件
合 計 (前年比)		104件 (-1)	9件 (-2)	0件 (-1)	113件 (-4)	38件 (+11)	36件 (+11)	22件 (+2)	236件 (+14)
評価及び課題		<p>相談及び貸付については昨年同様、行政との連携が必要な緊急小口資金や、生活保護世帯の生活必需品購入のための福祉費に関するものが多かった。償還については、生活保護世帯の償還率が低いことから、借入申込者からの同意があれば、生活保護費からの代理納付が可能となるように、行政機関に協力を依頼した。今後も生活困窮世帯の自立に繋がるように、借入申込者の気持ちに寄り添いながら、行政機関との連携を図り相談支援を行っていく。</p>							

2. 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ 世帯人数	支給品区分				
			アルファ米	乾パン	飲料水	フードバンクくるめ	エフコープ
40件 (+31)	20人 (+15)	61人 (+52)	267食 (+213)	78缶 (+51)	6本 (+6)	缶詰、カップ麺、レトルト食品、スープ、おかゆ、白米等	ミルク 紙おむつ
評価及び課題		<p>この事業は、生活福祉資金の貸付けが決定されるまでの間など、一時的な食糧支援として平成26年から実施しており、本人同意のもと、民生委員等の地域の福祉関係者に生活困窮世帯の情報提供を行っている。</p> <p>今年度は、行政機関からの紹介が増えたことで申請者数が大幅に増加した。そのため、予算の範囲内で用意していた支援品が不足したので、平成30年8月に「フードバンクくるめ」と食品提供に関する合意を締結し、支援品支給に対応した。また、乳児がいる世帯からの申請があったため、「エフコープ」に物品提供の協力を依頼し、無償提供してもらったミルクや紙おむつを、支援品として支給した。今後、様々な状況の世帯からの申請に対応出来るように、社会資源の把握に努めていく。</p>					

### 3. 心配ごと相談事業

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	毎週木曜日 13:00～16:00	49日 (+1)	39件 (-14)	財産、法律、家族、住宅、土地
評価及び課題	<p>専門相談員（司法書士）1人、民生児童委員2人の3人体制で、市民等の日常生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言指導を行い、住民の福祉向上を図ることを目的に実施している。</p> <p>過去3年間は、年間50件以上で推移していたが、今年度は40件を下回ったため、社協だより等による広報を通じて事業周知に努めるとともに、事業の在り方について検討していく。</p>			

### 4. 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

利 用 者 数	16人（-1） ※年度中途の契約解除者を含む [内訳] 認知症高齢者9人、知的障がい者3人、精神障がい者4人
支 援 内 容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言
支 援 回 数	277回（-28） ※延べ支援回数
評価及び課題	この事業は、現在、基幹型社協方式で実施されているが、次年度以降は全市町村实施方式への移行となるため、今後の体制の見直しが必要となる。また、生活支援員は、社協職員が兼務していることから、1人の生活支援員が対応できる利用者数に限界があるため、ボランティア活動や福祉に関心のある方を生活支援員として養成するなど、生活支援員の確保について検討する必要がある。

### 5. 福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数	評 価 及 び 課 題
車 椅 子	294件 (+14)	<p>貸与件数は昨年度とほぼ同じで、中でも電動ベッドの需要が多かった。しかし、電動ベッドの老朽化により修理が増えているものの、現事業財源では買い替えの予算確保が難しいため、利用料の見直しを検討する必要がある。</p> <p>また、次年度から、2年(或は3年)の貸与期間満了後、1年間の空白期間を経過すれば再度貸与が可能となったため、案内への追記や更新・返却手続きの際に伝える等、周知を図っていく。</p>
ギャッジベッド	0件 (±0)	
電 動 ベ ッ ド	899件 (-18)	
歩 行 器	33件 (+6)	
松 葉 杖	3件 (±0)	
乳児用ベッド	0件 (±0)	
合計（前年比）	1,229件 (+2)	

## 6. ハンディキャブ（福祉車両）貸与事業

実利用者数 （前年比）	年間貸与件数 （前年比）	評 価 及 び 課 題
15 人 （+7）	111 件 （+86）	<p>昨年度からハンディキャブが 2 台となり、1 日に複数の利用者が使用可能となった。また、毎月複数回の通院など、定期的にハンディキャブを必要とする利用者が増えたことで、貸与件数の増加に繋がった。</p> <p>しかし、市役所等からの紹介で、初めて事業を認知される場合もあり、まだ周知が十分でない状況であるため、引き続き社協だより等を通じて事業周知に努める。</p>

## 7. 各種機材・機器等貸与事業

貸与品目	年間貸出件数	評価及び課題
高齢者疑似体験用具	7 件（学校 3、福祉施設 4）	セット内容一覧表を各学校等に配布し利用促進を図っていく。

## 8. 福祉バス事業（市受託事業）

利用団体	予定日数	利用日数	利用者数
単位老人クラブ及び市老連	45 日（-8）	42 日（-2）	610 人（-74）
福 祉 団 体 等	18 日（+4）	18 日（+4）	251 人（+45）
学 童 保 育 所	10 日（-2）	10 日（+1）	237 人（+26）
民生児童委員協議会	8 日（+2）	8 日（+2）	111 人（+27）
地区社協及び関係団体	19 日（-13）	19 日（-12）	288 人（-156）
柳 川 市	3 日（+1）	3 日（+1）	40 人（+12）
合 計（前年比）	103 日（-16）	100 日（-6）	1,537 人（-120）
評価及び課題	<p>今年度は、災害ボランティアでの運行が無く（昨年度は朝倉市へ 8 日間運行）昨年度よりも利用日数が少なかったが、次年度から、大和・三橋地区の単位老人クラブが利用できるようになるため、増える見込みである。</p> <p>また、車両の使用年数が 20 年を過ぎ、走行距離も 242,508 km を超えているため、車両の老朽化が大きな課題である。</p>		

9. 大和・三橋老人福祉センター管理運営（市受託事業）

〔大和老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	24日	747人	31.1人	センター送迎バス廃止の影響や常連者の高齢化による死亡等により利用者数は減少した。新規利用者も見られるが、利用増には繋がっていない。引き続き、トレーニングルームの利用者にも声かけして利用に繋げていきたい。また、利用者とのコミュニケーションに心がけ、丁寧な接客に努めたい。
5月	24日	747人	31.1人	
6月	26日	816人	31.4人	
7月	26日	877人	33.7人	
8月	23日	725人	31.5人	
9月	25日	796人	31.8人	
10月	26日	863人	33.2人	
11月	24日	820人	34.2人	
12月	22日	808人	36.7人	
1月	23日	849人	36.9人	
2月	24日	876人	36.5人	
3月	26日	888人	34.2人	
合計 (前年比)	293日 (+2)	9,812人 (-580)	33.5人 (-2.2)	

〔三橋老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数	評価及び課題
4月	22日	897人	40.8人	利用者数は前年比で増加した。口コミ等による新規利用者の獲得や、トレーニングルームや諸室利用者にも声かけして利用に繋げていく。
5月	23日	945人	41.1人	
6月	23日	891人	38.7人	
7月	23日	877人	38.1人	
8月	20日	846人	42.3人	
9月	20日	832人	41.6人	
10月	24日	1,098人	45.8人	
11月	23日	1,035人	45.0人	
12月	20日	906人	45.3人	
1月	20日	913人	45.7人	
2月	21日	942人	44.9人	
3月	22日	1,036人	47.1人	
合計 (前年比)	261日 (±0)	11,218人 (+1169)	43.0人 (+4.5)	

10. 柳城児童館の管理運営（市受託事業）

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場 相談件数	児童館 相談件数	評価及び課題
		保護者	乳幼児			
4月	20日	391人	466人	220件	5件	近年、母親の仕事復帰が早くなり、本事業の利用期間が短くなってきたため、乳児向けのセミナーを年4クールに増やして母親が参加しやすくしたり、行政機関とも連携を密にするなど支援の在り方を工夫した。また、乳幼児期から18歳までの子を持つ親を対象に、専門の相談員による個別相談が定着してきた。次年度からは新たに「母乳・発達・身体何でも相談会」や「プレママプレパパ相談会」の実施も計画し、妊娠期から思春期までの子育て親子に対応していく。今後更に、子育てに喜びが持てる地域社会の構築に向けて努力していく。
5月	21日	448人	519人	324件	12件	
6月	21日	484人	569人	284件	21件	
7月	20日	433人	541人	277件	31件	
8月	23日	311人	399人	192件	11件	
9月	18日	346人	410人	205件	6件	
10月	22日	437人	508人	255件	48件	
11月	21日	399人	488人	269件	11件	
12月	19日	368人	449人	249件	11件	
1月	19日	287人	378人	185件	4件	
2月	19日	395人	477人	244件	17件	
3月	20日	430人	550人	207件	6件	
合計 (前年比)	243日 (-1)	4,729人 (+1,019)	5,754人 (+1,554)	2,911件 (+515)	183件 (-4)	
<p>☆柳城児童館で実施している子育て講座（参加者延べ数 親子で2,596人）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①ゆりかご子育てセミナー（年4クール、1クール6コマ講座）</li> <li>②おしゃべりカフェセミナー（年1クール、1クール8コマ講座）</li> <li>③助産師相談（年36回）</li> <li>④小児科医相談・座談会（年2回）</li> <li>⑤ベビーマッサージ講座（年12回）</li> <li>⑥絵本の会（年12回）</li> <li>⑦子連れDE防災講座（年1回）</li> <li>⑧双子ちゃんあつまれ（月1回、年12回）</li> <li>⑨うちどく講演会（年1回）</li> <li>⑩子どもの怪我病気の対応（年1回）</li> <li>⑪ミニプレーパーク（年3回）</li> <li>⑫蒲池中学校子育て広場（年10回）</li> </ul>						

11. ファミリーサポートセンターの管理運営（市受託事業）

<p><b>【会員登録状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おねがい会員…274人（前年比17人増）</li> <li>・まかせて会員…99人（前年比7人増）</li> <li>・どっちも会員…29人（前年比2人増）</li> </ul> <p style="text-align: center;">合計…402人（前年比26人増）</p> <p><b>【まかせて会員養成講座】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 9月27日～10月12日 8人参加（8人修了）</li> </ul> <p><b>【交流会】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回 9月7日 参加人数 22人</li> <li>・第2回 3月15日 参加人数 20人</li> </ul>	<p><b>【活動件数】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・567件／年（前年比301件増）</li> </ul> <p><b>【主な活動内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎</li> <li>・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり</li> <li>・保育園登園前の預かりから保育園への送り</li> <li>・兄弟の学校行事時の預かり</li> <li>・保護者の冠婚葬祭時の預かり</li> <li>・保護者の通院時の預かり</li> <li>・子どもの通院のサポート</li> <li>・自宅から保育園までの送り</li> <li>・登校や学童までの預かりと送り</li> </ul>
<p><b>【評価及び課題】</b></p>	<p>新たな取り組みとして8月から始めた「あずかりごっこ」と「おためし券」を実施したことで、おねがい会員数が増加した。また、母親の働き方が変わり、早朝の勤務等による朝早くからの預かりが増えた。次年度からは市から助成金（1時間400円）が支給されることでサポート依頼が増えると予想されるため、活動可能なまかせて会員を増やしていく必要がある。</p>

《在宅福祉サービス部門》

1. 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		訪問入浴介護		障害者総合支援		評価及び課題
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	
4月	124人	35人	486回	5人	19回	18人	203回	居宅介護及び訪問介護における事業所加算の取得を継続実施したことで、一定の収支改善が図られた。 今後も積極的なPRや広報活動を行い、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。 訪問入浴介護に関しては、利用者数の減少により厳しい状況が続いたため、今年度をもって事業を廃止することとなった。
5月	128人	36人	509回	4人	18回	19人	214回	
6月	125人	33人	396回	3人	13回	18人	218回	
7月	128人	31人	370回	3人	17回	18人	210回	
8月	135人	31人	379回	3人	15回	20人	207回	
9月	130人	32人	340回	3人	12回	19人	200回	
10月	124人	31人	381回	3人	12回	19人	239回	
11月	123人	31人	365回	2人	9回	19人	228回	
12月	122人	32人	336回	4人	11回	19人	225回	
1月	125人	29人	304回	4人	18回	21人	233回	
2月	122人	27人	297回	4人	17回	21人	221回	
3月	123人	27人	298回	3人	12回	20人	222回	
合計 (前年比)	1,509人 (+26)	375人 (-40)	4,461回 (-1475)	41人 (-30)	173回 (-129)	231人 (+14)	2,620回 (+124)	

2. 予防給付事業

月	介護予防支援	介護予防訪問介護		総合事業 (現行訪問介護)		介護予防訪問入浴介護	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	13人	0人	0回	47人	287回	0人	0回
5月	12人	0人	0回	47人	327回	0人	0回
6月	12人	0人	0回	50人	298回	0人	0回
7月	13人	0人	0回	50人	309回	0人	0回
8月	17人	0人	0回	49人	324回	0人	0回
9月	18人	0人	0回	51人	306回	0人	0回
10月	20人	0人	0回	50人	332回	0人	0回
11月	21人	0人	0回	52人	312回	0人	0回
12月	19人	0人	0回	50人	284回	0人	0回
1月	21人	0人	0回	52人	301回	0人	0回
2月	23人	0人	0回	52人	306回	0人	0回
3月	23人	0人	0回	53人	321回	0人	0回
合計 (前年比)	212人 (+54)	0人 (-214)	0回 (-1332)	603人 (+301)	3,707回 (+1,446)	0人 (±0)	0回 (±0)
評価及び課題		平成30年4月から介護予防訪問介護から柳川市が実施する総合事業に完全に移行し活動回数も昨年を上回る実績となった。利用者の自立支援のために、より専門性を発揮したサービスを提供できるよう努めていきたい。					

### 3. 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数	評価及び課題
4月	8人	29回	<p>徐々に事業の周知も進み、利用者数、利用回数ともに増加している。</p> <p>今後も引き続き、利用者要望に柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら取り組んでいきたい。</p>
5月	8人	31回	
6月	10人	34回	
7月	8人	28回	
8月	8人	24回	
9月	8人	25回	
10月	8人	25回	
11月	9人	27回	
12月	9人	26回	
1月	8人	30回	
2月	9人	31回	
3月	11人	34回	
合計		344回 (+39)	

### 4. 地域生活支援事業

#### [移動支援事業・入浴サービス事業]

月	移動支援		障害者入浴サービス		評価及び課題
	実利用者数	利用回数	実利用者数	利用回数	
4月	4人	22回	0人	0回	<p>移動支援事業の利用者数は若干増え、年間を通して利用者数が維持できた。</p> <p>今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。</p> <p>障害児・者の訪問入浴サービスについては、試行的な利用はあったが継続利用には繋がらなかった。</p> <p>利用者数の減少により厳しい状況にあった、訪問入浴介護事業とともに今年度をもって事業を廃止することとなった。</p>
5月	5人	29回	0人	0回	
6月	5人	19回	0人	0回	
7月	5人	23回	0人	0回	
8月	4人	8回	1人	2回	
9月	6人	30回	0人	0回	
10月	4人	40回	0人	0回	
11月	5人	30回	0人	0回	
12月	4人	22回	0人	0回	
1月	4人	24回	0人	0回	
2月	5人	27回	0人	0回	
3月	5人	21回	0人	0回	
合計 (前年比)		295回 (+37)		2回 (+2)	

**[障害者相談支援事業]**

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	135件	312件	164件	7件	0件	39件	9件	52件	718件
5月	175件	363件	235件	26件	0件	69件	6件	74件	948件
6月	136件	377件	151件	4件	0件	22件	17件	76件	783件
7月	167件	318件	219件	19件	0件	33件	28件	69件	853件
8月	209件	284件	210件	3件	0件	38件	12件	52件	808件
9月	183件	308件	252件	2件	0件	35件	12件	66件	858件
10月	237件	322件	216件	3件	0件	52件	1件	122件	953件
11月	196件	244件	156件	44件	0件	68件	3件	98件	809件
12月	170件	261件	225件	45件	0件	26件	9件	47件	783件
1月	159件	295件	235件	18件	0件	33件	12件	42件	794件
2月	162件	324件	245件	16件	0件	28件	10件	52件	837件
3月	182件	408件	262件	15件	0件	72件	4件	0件	943件
合計 (前年比)	2,111件 (+363)	3,816件 (+2)	2,570件 (+175)	202件 (+3)	0件 (±0)	515件 (+52)	123件 (±0)	750件 (-59)	10,087件 (+536)
相談比率	20.9%	37.8%	25.5%	2.0%	0%	5.1%	1.2%	7.5%	—

【相談方法】 関係機関(58%) 電話(20%) 訪問(8%) 来談(3%) 同行(1%) 電子メール(1%) その他(9%)

【支援内容】 福祉サービス(56%) 障害・病気の理解(1%) 健康・医療(9%) 不安の解決(2%)

保育教育(1%) 人間関係(5%) 家計・経済(4%) 生活技術(7%) 就労(3%)

社会参加(2%) 権利擁護(1%) その他(9%)

サービス利用計画作成件数 153件

(内訳:知的 89件、身体 22件、精神 20件、重度心身 14件、高次脳 3件、発達障害 5件)

**【評価及び課題】**

昨年度と比較して、年間の相談件数が 500 件程度増加。

他市町村の相談支援事業所や保健所、精神科病院などから連携依頼があり、困難ケースや退院後支援で相談に対応するケースが増えている。今年度、制度改正が行われ、サービス利用計画の作成に係る訪問回数が増加したことから、計画作成に係る比重が大きく、業務全体を圧迫している現状にあるため、迅速に一般相談に対応できていないことが昨年度以上に課題となっている。

5. 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業〔市受託事業〕

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣		評価及び課題
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数	
4月	6人	19回	0人	0回	生活管理指導員派遣事業については、利用者数は昨年より増加している。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要介護認定が要支援1・2を受けた方、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができる支援を引き続き行っていく。 エンゼルサポーター派遣事業については利用者は昨年より増加している。引き続き所管課と連携し利用者増に繋げていきたい。
5月	7人	25回	1人	5回	
6月	6人	21回	1人	2回	
7月	6人	19回	1人	7回	
8月	7人	22回	1人	8回	
9月	8人	27回	1人	8回	
10月	9人	32回	1人	8回	
11月	9人	33回	1人	7回	
12月	9人	29回	1人	8回	
1月	9人	30回	1人	8回	
2月	12人	38回	1人	8回	
3月	11人	39回	1人	8回	
合計 (前年比)		334回 (+72)		77回 (+54)	

6. 高齢者生きがい活動支援通所事業〔市受託事業〕

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	20日	43人	37人	232人	11.6人
5月	21日	43人	39人	251人	12.0人
6月	21日	43人	38人	258人	12.3人
7月	19日	43人	38人	241人	12.7人
8月	19日	43人	38人	219人	11.5人
9月	18日	44人	41人	227人	12.6人
10月	22日	46人	43人	315人	14.3人
11月	21日	46人	42人	254人	12.1人
12月	18日	46人	40人	236人	13.1人
1月	18日	46人	40人	210人	11.7人
2月	19日	47人	40人	252人	13.3人
3月	20日	47人	39人	241人	12.1人
合計 (前年比)	236日 (+1)			2,936人 (-44)	12.4人 (-0.3)

**【評価及び課題】**  
 利用者の高齢化が進んでいる。デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上、認知症予防に繋がっている反面、高齢であるため、視力、嚥下力、下肢筋力低下など疾病のリスクも高くなり、入院や介護施設への入所などで利用者が減少している。また、利用者の殆どが女性のため、男性からの問い合わせや希望があっても利用に繋がりにくい状況にある。事業の対象者が大和地区に限定されているため、周知や広報活動に制約がある。民生委員等を通じて、閉じこもりがちな方やひとり暮らしの方など新規利用者の獲得に努めていきたい。

